

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月31日

計画の名称	身近な生活道路の安心・安全を確保する市町村道等の整備（第4期）													
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	加須市, 坂戸市, 横瀬町													
計画の目標	生活道路である市町村道等の安全かつ快適な道路空間整備を行うことにより日常活動圏の中心地へのアクセス向上を図り、地域の自立と定住を促進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		380	A	380	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C+D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R6当初)	(R8末)	(R10末)
1	バイパスや道路拡幅等の整備による走行環境の改善により、幹線道路・主要駅等へのアクセス時間を短縮			
	整備箇所周辺の渋滞解消等による幹線道路・主要駅へのアクセス時間×地域人口 Σ （整備後のアクセス時間×地域人口）／ Σ （整備前のアクセス時間×地域人口）×100（%）	0%	0%	40%
2	市町村道での道路交通における死傷事故件数の削減			
	市町村道での道路交通における死傷事故件数の削減率 $(1 - \Sigma$ （整備後の市町村の死傷事故件数）／ Σ （整備前の市町村の死傷事故件数））×100（%）	0%	0%	20%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		R06	R07	R08	R09	R10														
		一体的に実施することにより期待される効果																		
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	加須市	直接	加須市	市町村 道	改築	市道145号線(騎西地域)	道路拡幅 0.97km	加須市	■	■	■	■	■	99		－	
	A01-002	道路	一般	坂戸市	直接	坂戸市	市町村 道	改築	市道第2342号路線	現道拡幅 0.45km	坂戸市	■	■	■			92		－	
	A01-003	道路	一般	横瀬町	直接	横瀬町	市町村 道	改築	町道3175号線	現道拡幅 0.90km	横瀬町	■	■	■	■	■	189		－	
												小計						380		
											合計						380			

事前評価チェックシート

計画の名称： 身近な生活道路の安心・安全を確保する市町村道等の整備（第4期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（3 社会資本整備重点計画）	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等 2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標の客観性・具体性・地域性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標の客観性・具体性・地域性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○